NIE実践報告

1．タイトル：社会の出来事を多面的・多角的に見ることのできる生徒の育成

2．学校名

山口県周南市立鼓南中学校

3．実践者名（代表者名）

高田　徹明

4．学年

第3学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

選択教科社会　4名

6．単元（本時の学習課題）名

多面的・多角的に社会をとらえよう

7．目標(狙い)

政治・経済の動きを、新聞を活用しながら具体的に捉えるとともに、多面的・多角的に見る目を養う。

8．評価の視点

新聞に掲載されている政治・経済の動きを、様々な視点から見るとともに、自分なりの意見をまとめ、発表することができたか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

「新聞を活用して政治・経済を具体的に捉えよう」10時間

10. 単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

①興味を持った政治・経済に関する新聞記事を集めよう。(3時間)
②集めた新聞記事について、自分なりの考えをまとめて記述しよう。(4時間)
③新聞記事を見ながら、お互いに意見を交換しよう。(3時間)

(留意点)
・新聞記事の解説部分にあるいくつかの視点を参考にして、自分なりの考えをまとめるように促す。
・同じ記事であっても、各新聞社によって取りあげ方・主張が異なる場合があることに留意させる。

11. 児童・生徒の反応、感想・意見

「社会の公民的分野の教科書に載っていたことが、具体的にわかるようになった。」とか、「新聞の解説部分にも目を通すようになったので、社会の出来事をいろいろな角度から見ることができるようになった。」との声が聞かれるようになった。

12. 成果と課題

最初は新聞のスポーツ欄や新聞一面の見出し程度しか読まなかった生徒が、新聞記事の解説にまで目を通して、自分なりの考えを持とうとする姿勢が見られるようになった。また、新聞は図書室に置いてあるので、選択教科社会の時間だけでなく、昼休みなどに生徒が気軽に読めるようになった。
今後は、新聞の活用の場を、選択教科社会に限らず他の教科にも広げて行きたい。